

平成27年度 第1回図書館セミナー開催しました

医学図書館は、平成27年7月31日（木）16：40-18：20 講義実習棟121講義室で中根裕信先生（医学科解剖学）を講師に図書館セミナー「歴史と芸術と医学」を開催しました。

まず、先生はセミナーの中で、人体解剖図の変遷について少し触れられました。

日本では、『ターヘル・アナトミア』の解剖図はそれ以前の解剖図と全く異なっていて、遠近法なども用いて非常に解りやすく医学の進歩に貢献しました。

次に、ダ・ヴィンチやミケランジェロは絵画や彫刻の人体の表現のために、複数の人体解剖を行いました。解剖で人体の内部構造を知ることにより、偉大な作品を数多く残すことになりました。

当時は人体解剖の許可は教会が出していました。教会が許可を出していたのは、人間もまた「神」の創造物でと考えたためではないでしょうか。解剖で得た知識で表現力が豊かになった作品の多くが教会のために作成され、「神」の偉大さを多くの人に伝える目的として有効であった歴史があります。

その中で、学術雑誌「Neurosurgery」の論文でシステーナ礼拝堂のミケランジェロの天井画の中に脳の一部と脳幹などが隠されていると発表されたエピソードも紹介されました。

最後に、これから医療現場で患者さんと接する機会のある学生さんは、より多くの教養を身に付け豊富な話題を持つことが必要なので、様々な知識を得る機会を多く持ってほしいというお話をされました。

参加した学生さんからは、「教養を身につけることの意義についてのお話を伺うことができ、これからの勉強についての意欲が増しました。」「今回は芸術⇄医学という観点でしたが、その他にも多くの〇〇⇄医学というものに触れてみたいと思った。」という感想をいただきました。

医学図書館では、多くの学生の皆さんに医学の基礎となる人体についてより理解を深めていただき幅広い教養を身に付けていただく機会になるよう、今後もこのような企画を計画していきます。



医学図書館では常時人体模型の展示・貸出を行っています。
ご来館いただき実際に見て・触って学習にお役立てください。